正誤表

『基礎理学　線形代数学』

（数学教科書編集委員会 編）

第 3 版第 5 刷〜第 8 刷用

2018 年 8 月 2 日発行

	誤	正
p.i 序文 $\ell.-1$	http://indigo.shinshu-u.ac.jp/la/	http://www.gakujutsu.co.jp/text/isbn978-4-7806-0164-0/
p.2, $\ell.-8$	必要十分条件条件	必要十分条件
p.10, $\ell.11$	シュワルツの不等式	Cauchy-Schwarz 不等式
p.22, $\ell.-1$	$(a_1b_1 + a_2b_2 + \cdots + a_nb_n)$	$a_1b_1 + a_2b_2 + \cdots + a_nb_n$
p.39, $\ell.-4$	命題 2.4	定理 2.4
p.39, $\ell.4$	すべて 0 であるから, PA	すべて 0 であるから, 例題 1.4.9 より PA
p.39, $\ell.16$	.....rank$(PAB) \leq k$ である,	.....rank$(PAB) \leq k$ である．（最後ピリオド）
p.40, $\ell.10$	定理 2.4 より Q は正則行列でないこととなり,	例題 1.4.9 より, Q は正則行列でないこととなり,
pp.60 − 61	アミダくじ	あみだくじ
p.60, $\ell.9$	...用意する.	...用意する．ただし，橋同士は交点 (横一線に並ぶ場合) を持たないとする.
p.60, $\ell.-4$	(3) によって (2) はありえない	(3) によって (2) の仮定の部分の主張はありえない
p.60, 図 3.2		下端の左から順番に $1, 2, 3, 4, 5$ と番号を入れる
p.61, $\ell.3$	対応しているので互換を	対応しているので, 互換を
p.61, $\ell.6$	仮定から上端の i および j からたどる道は.....	仮定から上端の i および $i+1$ からたどる道は.....
p.61, $\ell.8$	仮定から上端の i および j からたどる道は.....	仮定から上端の i および $i+1$ からたどる道は.....
p.61, $\ell.9$	仮定から上端の i および j からたどる道は.....	仮定から上端の i および $i+1$ からたどる道は.....
p.81, $\ell.1$	定理 2.4, 2.9, 3.18 および命題 3.14 により	定理 2.4, 3.18 および命題 2.9, 3.14 により
p.81, $\ell.7$	系 2.9 により	命題 2.9 により
p.82, $\ell.5$	問 3.5.4 次の行列は正則行列であることを確かめ, その逆行列を求めよ.	問 3.5.4 次の行列は正則行列であるかどうかを確かめ, 正則行列であるときはその逆行列を求めよ.
p.103, $\ell.-7$	$A = (\boldsymbol{v}_1, \cdots, \boldsymbol{v}_n), \boldsymbol{x} = \begin{pmatrix} r_1 \\ \vdots \\ r_n \end{pmatrix}$	$A = (\boldsymbol{v}_1, \cdots, \boldsymbol{v}_k), \boldsymbol{x} = \begin{pmatrix} r_1 \\ \vdots \\ r_k \end{pmatrix}$
p.103, $\ell.-3$	系 2.9	命題 2.9

	誤	正
p.112, $\ell.-4$	$p_{m1}\boldsymbol{v}_m$	$p_{n1}\boldsymbol{v}_n$
p.112, $\ell.-3$	$p_{m2}\boldsymbol{v}_m$	$p_{n2}\boldsymbol{v}_n$
p.112, $\ell.-1$	$p_{mn}\boldsymbol{v}_m$	$p_{nn}\boldsymbol{v}_n$
p.116, $\ell.-8$ – $\ell.-2$	A	P
p.117, $\ell.7$ – $\ell.10$	A	P
p.119, $\ell.11$	シュワルツの不等式	Cauchy-Schwarz 不等式
p.119, $\ell.14$	シュワルツの不等式	Cauchy-Schwarz 不等式
p.137, $\ell.11$	$rs_1\boldsymbol{v}_1 \cdots + rs_n\boldsymbol{v}_n$	$rs_1\boldsymbol{v}_1 + \cdots + rs_n\boldsymbol{v}_n$
p.137, $\ell.-2$	A が正則写像	A が正則行列
p.142, $\ell.-2$	$\{\boldsymbol{v}_1, \cdots, \boldsymbol{v}_m\}$	$\{\boldsymbol{v}_1, \cdots, \boldsymbol{v}_n\}$
p.150, $\ell.9$	線形写像	線形変換
p.150, $\ell.10$	線形写像	線形変換
p.160, $\ell.-3$	$\lambda E - A$	$\lambda E - B$
p.160, $\ell.-1$	$\lambda E - A$	$\lambda E - B$
p.161, $\ell.2$	$\lambda E - A$	$\lambda E - B$
p.163, $\ell.-6$	固有値	固有ベクトル
p.168, $\ell.-2$	複素 n 次元空間	n 次元複素空間
p.169, $\ell.13$	$(\lambda\boldsymbol{x}, \boldsymbol{x})$	$(\lambda\boldsymbol{x}, \boldsymbol{y})$
p.169, $\ell.13$	$(\boldsymbol{x}, \mu\boldsymbol{x})$	$(\boldsymbol{x}, \mu\boldsymbol{y})$
p.173, $\ell.4$	$4E - A$	$4E - B$
p.173, $\ell.-6$	$4E - A$	$E - B$
p.173, $\ell.-4$	直交化法にって	直交化法によって
p.175, $\ell.3$	$\lVert\boldsymbol{u}\rVert$	$\lVert\boldsymbol{u_1}\rVert$
p.191, $\ell.6$	$A\boldsymbol{x} + \boldsymbol{b} = 0$	$A\boldsymbol{x} + \boldsymbol{b} = \boldsymbol{0}$
p.213, $\ell.-6$	$P^{-1}AP = \begin{pmatrix} -1 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 2 \end{pmatrix}$	$P^{-1}AP = \begin{pmatrix} -1 & 0 & 0 \\ 0 & 1 & 0 \\ 0 & 0 & 1 \end{pmatrix}$